

# いわてイノベーション 推進リサーチパーク

Iwate Innovation Research Park



I-waRP

Iwate Innovation Research Park

# 「協創から未来へ」

## いわてイノベーション推進リサーチパークで、 地域未来の協創を！

### いわてイノベーション推進リサーチパークとは？

(通称：I-waRP アイワープ)

岩手大学、岩手県、盛岡市、いわて産業振興センター、岩手県工業技術センターなどが連携し、地域企業の研究開発から社会実装・産業振興までを切れ目なく支援する産学官連携の拠点です。



地域の総合力で  
岩手から世界を変える



## 企業にとっての メリット



### 研究開発が加速する

- 岩手大学や岩手県工業技術センターの300台以上の先端機器が活用可能
- 専門技術スタッフによる試験・分析・加工支援



### つながる、広がる

- 岩手大学、岩手県工業技術センターとの共同研究等のマッチング支援
- 目的、ステージに応じた研究開発環境の提供
- 産学官連携ネットワークによる新たなビジネスチャンスの創出



### 試作から製品化までワンストップ

- 試作・実証・事業化までの段階に応じた支援
- インキュベーション施設や貸工場も完備
- 目的、ステージに応じた活動加速のための助成ファンドの提案



### 人材と知の集積地

- 岩手大学の特色ある研究成果を活用
- 人材育成・技術者研修の機会も豊富



### 地域に根ざした成長戦略

- 医療機器・半導体・自動車など成長産業への参入支援
- 地域課題を解決するイノベーションの共創拠点

## こんな企業に おすすめ!

- 新製品・新技術を開発したい
- 事業拡大のためラボ、工場を設置したい
- 大学や研究機関と連携したい
- 地域に根ざした事業展開を目指している
- 試作・実証の場を探している

## お問い合わせは、HPの「ワンストップ総合窓口」へ

相談内容を伝えるだけで、最適な支援人材が対応します。  
研究開発から事業化まで、企業の挑戦を全力でサポート!

リサーチパーク  
HPはこちらから▶

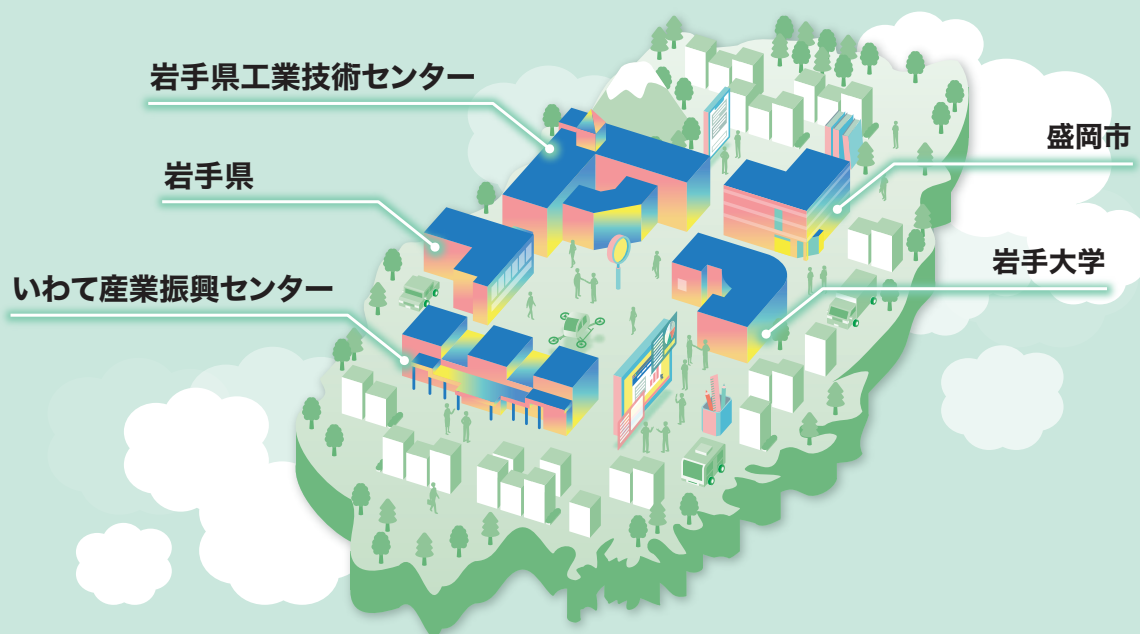


窓口の詳細についてはP11へ▶

## 地域イノベーションリソースを結集し、産学官連携で 新たな価値を創造する、岩手独自の挑戦が始まります。

県央エリアには、岩手大学などの大学機関、岩手県工業技術センターなどの公設試験場、いわて産業振興センター、盛岡市新事業創出支援センターなどの産業支援機関、金融機関等が立地し、知、人材、情報、資金といったイノベーションリソースが集積しています。

「いわてイノベーション推進リサーチパーク」は、岩手大学を中核に、岩手県、盛岡市、いわて産業振興センター、岩手県工業技術センターが「一つ屋根の下」に集うバーチャルなイノベーション拠点です。地域全体の知と資源を結集し、基礎研究から社会実装、新事業創出までを切れ目なく強力にサポート。岩手から世界へ、イノベーションで未来を拓きます。



### I-waRP について



波紋をモチーフに、ひらめきがつながり、広がり、積み重なって本物のイノベーションへと発展するプロセスを表現。中心の「W」はWave（波）であり、Warp（加速・転換）の象徴。ゼロから生まれる動きが新しい世界へとワープするエネルギーを示し、地域・研究・人材が連携し価値を創造する「I-waRP」の理念を視覚化しています。

Iwate（岩手）と Research Park（リサーチパーク）を組み合わせた略称に「Warp（ワープ）」を重ねたもの。Warpが持つ空間や時間を超えるというイメージから「バーチャル・アンダーワンルーフ型リサーチパーク」が「物理的に一つ屋根の下にいても、機関・人材・資源が連携し、機能の一体化によりワンストップでの支援が受けられる」ことを象徴します。

さらには、「ワープ（Warp）」という言葉が持つ、次元を超える・加速する・未来へ進むというイメージを活かし、岩手から世界へ、研究から社会実装へと“ワープ”するような革新的な価値創出の拠点であることを象徴します。

# I いわてイノベーション推進リサーチパーク

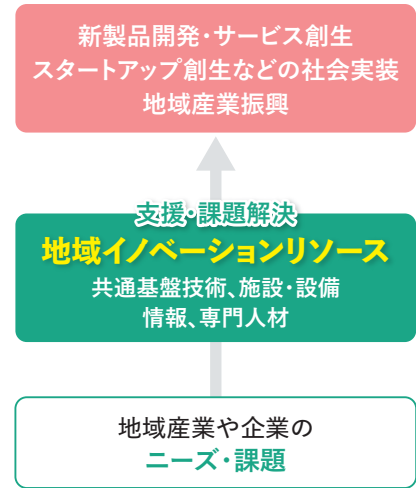
「いわてイノベーション推進リサーチパーク」は、地域に根差したイノベーションを力強く推進するための新たな拠点です。

## ■構想の趣旨

**目的** 地域イノベーション・エコシステムの実現に向け、研究から社会実装までを飛躍的に推進するため、地域の産学官が一体となり、研究施設・設備及び知的基盤の整備・共用、ネットワーク化を通じて「価値共創型の新たな産業を創出する基盤」を立ち上げました。

**概要** 研究開発活動を支える共通基盤技術、施設・設備、情報、専門人材といった地域イノベーションリソースを集約・活用。地域産業や企業のニーズ・課題に対し、大学等の研究成果を活用して、新製品開発・サービス創生やスタートアップ創生などの社会実装、そして地域産業振興へ切れ目のない支援活動を推進するシステムを構築します。

各機関が抱える施設・設備の稼働率の過不足、維持管理、支援人材の不足といった共通課題を解決するため、「事業化プラットフォームを構成する大学、自治体・公設試・産業支援機関がもつ支援人材、スペース、共同利用機器等の人的・物的資源を集結する仕組み」を構築し、地域全体の支援機能の最大化を目指します。



## ■イノベーション・コモنزの形成

岩手大学の理工学部をハブ（中核）スポークスとして、地域全体の「イノベーション・コモنز」を形成します。

- ・ **イノベーション・コモنز**とは、多様なステークホルダーが「共創」し、人材育成やイノベーション創出を行う拠点を指します。このイノベーション・コモنزは、パーチャルの「アンダーワンルーフ型」リサーチパークとして機能します。
- ・ **アンダーワンルーフ**とは、異分野の専門家が交流して研究などを行うことを意味します。構成機関の産学連携の高度専門人材が協働し、地域ニーズプル型で大学の研究成果を「社会実装、地域産業の振興」まで切れ目なくサポートする構想です。

# II 岩手のイノベーション風土と大学の強み

岩手県では、早くから産学官民連携の重要性を認識し、イノベーション創出を支える独自の風土を育んできました。

## ■岩手ネットワークシステム（INS）の設立

1992年、全国に先駆けて産学官民の有志により、科学技術・研究開発に関する人や情報の交流を活発化し、共同研究を推進することを目的に「岩手ネットワークシステム（INS）」が設立されました。

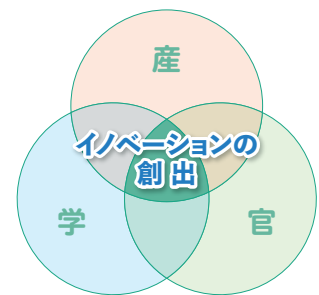
誰もが自由に加入できる交流の場として、産学官連携の風土が深く根付いています。

## ■いわて産学連携推進協議会（リエゾン-I）の活動

2004年には、金融機関3機関と研究機関10機関が加盟する「いわて産学連携推進協議会（リエゾン-I）」が設置されました。リエゾン-Iは、大学などが持つ高度な技術研究成果（シーズ）と企業などが持つ技術開発・商品開発のニーズをマッチングさせ、企業の「高付加価値化」「事業の多角化」「新たなビジネス創出」を積極的に支援します。「リエゾン-I マッチングフェア」の開催や「リエゾン-I 研究開発事業化育成資金」の贈呈、研究シーズの紹介などを実施しています。

## ■岩手大学の研究力強化

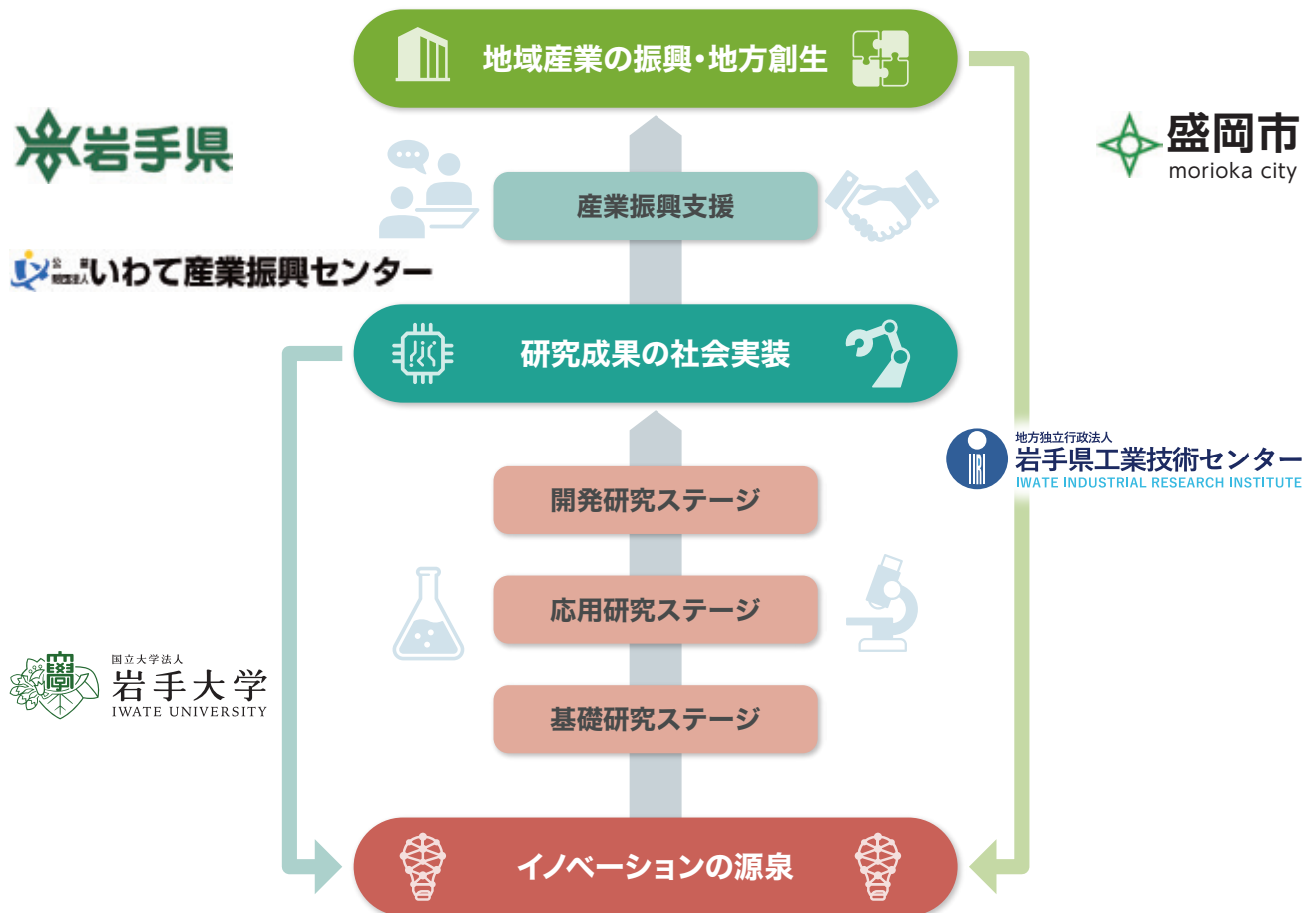
岩手大学は「岩手大学ビジョン2030」を掲げ、表面界面・ナノ工学、次世代農学、地域の歴史文化研究といった特色ある研究を重点分野に位置づけ、その成果を地域創生へと社会実装することに積極的に取り組んでいます。



### III いわてイノベーション推進リサーチパークの機能

「いわてイノベーション推進リサーチパーク」は、岩手大学、岩手県、盛岡市、いわて産業振興センター、岩手県工業技術センターが強力に連携し、研究成果の社会実装から地域産業振興までを切れ目なく支援するバーチャルなイノベーション拠点です。

地域に集積する最先端の研究施設、300台以上の共同利用機器、そして専門家である支援人材が結集し企業の新製品・サービス創出やスタートアップ育成を力強く後押しし、新たな価値を創造するイノベーション・エコシステムを形成します。岩手から世界へ、未来を切り拓く事業の加速をお手伝いします。



#### イノベーション創出に向けた産業界への提供機能

- 1. 施設・スペース：**イノベーション創出の各ステージに合わせたコワーキング、研究開発、実証研究、インキュベーション・スタートアップ創業、実証型貸工場など、合計10施設を提供します。また、各支援機関の専門人材が、研究開発・助成金申請、共同利用機器活用、支援事業・サービス活用などを複合的かつ切れ目なくサポートします。
- 2. 共同利用機器：**岩手大学、岩手県工業技術センターが保有する300台以上の分析機器、試験・測定機器、設計・加工機器、加熱・冷却機器、観察機器等が利用可能です。依頼試験分析、設計・加工、機器貸し出しに対応し、各分野の専門技術スタッフがニーズに即したサポートを提供します。
- 3. 支援事業・サービス：**各機関の産業支援人材が、研究開発、研究シーズからの社会実装、産業振興に向けた支援事業・サービスを、利用者ニーズに寄り添って提供します。





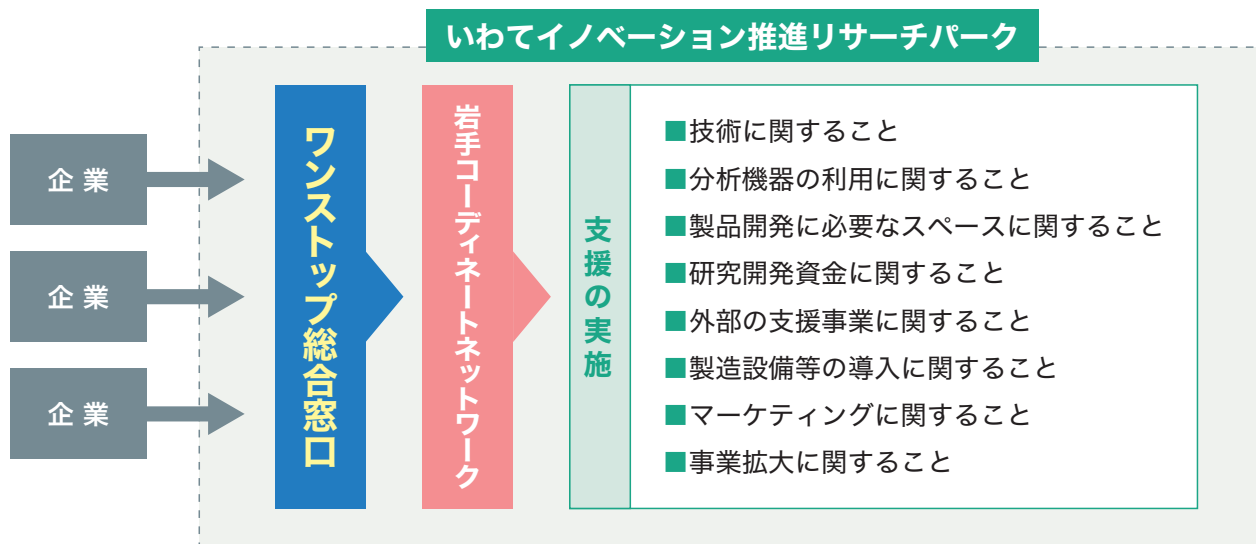
## —I-waRPの支援人材とつながる— ワンストップ総合窓口

### ■岩手コーディネート・ネットワーク

## 岩手コーディネートネットワークは、 リサーチパークの専門人材が集うチームです。

いわてイノベーション推進リサーチパークでは、地域産業の持続的発展に貢献すべく、「大学の研究成果を活用した共同開発」から「社会実装、地域産業振興」まで、地域の産業支援機関がワンチームでサポートします。

岩手コーディネートネットワークは、「いわてイノベーション推進リサーチパーク」の中心的機能の一つです。大学、自治体、公設試験場、産業支援機関の専門人材が協働し、産学官連携情報を共有・活用します。これにより、企業のニーズに応じた研究シーズや、共同研究、新事業創出のマッチングを推進します。また、地域全体の支援人材育成にも寄与し、リサーチパーク利用者の皆様への円滑なサポートとイノベーション創出を強力に支援します。



岩手コーディネート・ネットワークへのご相談は、  
**「ワンストップ総合窓口」**から



I-waRPホームページ  
「ワンストップ総合窓口」

## イノベーション創出環境の提供

### 1 施設・スペース

(令和7年12月1日 時点)

研究開発から社会実装までの一連のステージに応じた支援施設、スペースを提供いたします。

#### イーハトーヴ協創ラボ (コワーキングスペース)

地域と学生・教職員が、交流・協創活動を通じ、多様で新たなアイデアや取組を生み出す大学内コワーキングスペースであり、オープンな環境とセキュアな環境の両立を兼ね備えた交流・協創スペースです。

#### 地域共同研究棟 (貸実験室・プロジェクトスペース)

岩手大学のシーズを用いた一定規模以上の教育研究活動、共同研究活動等の活性化を目的とした貸し実験室・プロジェクト実験室です。

#### 岩手県先端科学技術研究センター (研究開発スペース)

中長期的な視点から先導的・先端的な研究開発を支援することにより、本県産業の基盤整備と新産業の創出や新技術の開発を推進します。

#### ものづくり研究棟 (貸実験室・プロジェクトスペース)

ものづくり分野（特に、金型・鋳造・デバイス）の研究開発分野を融合化し、複合化した研究開発を行うための研究開発スペースです。

#### 銀河オープンラボ (実証研究スペース)

岩手大学における事業化可能性の高いシーズを軸に、参画企業と研究開発から実証までを行う拠点です。

#### 盛岡市産業支援センター (インキュベーション・スタートアップ創業スペース)

盛岡市の産業振興と企業のスタートアップの拠点として経済の自立発展を支援する施設です。

#### 盛岡市産学官連携研究センター (インキュベーションスペース)

岩手大学の知的財産と産学官連携ノウハウを活用し、大学の研究成果の企業への技術移転、新規創業支援及び研究開発型企業の誘致等を推進します。

#### 盛岡市新事業創出支援センター (実証型貸工場スペース)

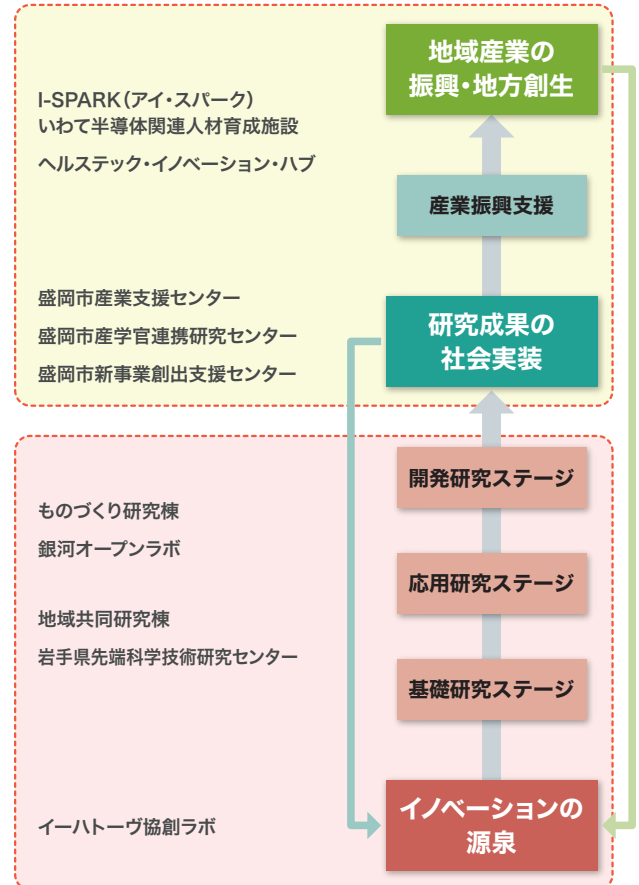
岩手県工業技術センターや岩手大学、いわて産業振興センター等と連携しながら、コーディネート機能の強化を図り、新製品、新技術の市場への参入、大学等の研究成果と企業ニーズのマッチングや企業間連携による共同開発等を支援します。

#### I-SPARK (アイ・スパーク) いわて半導体関連人材育成施設

いわて半導体関連産業集積促進協議会 (I-SEP) が産学官連携による半導体製造装置エンジニアの育成強化を目的とした人材育成施設です。

#### ヘルステック・イノベーション・ハブ (企業集積、企業成長支援)

ヘルステック関連の中核企業の集積を促進し、新製品・新事業創出による地域経済の活性化とヘルステック関連産業の拠点形成を図る産学官連携や共同研究開発の場です。



## 2

## 共同利用機器

(令和7年12月1日 時点)

研究開発から製品開発までを支える大学等の先端研究設備・機器の提供及び支援スタッフによるサービスを提供いたします。

### 岩手大学共同利用機器 (研究基盤管理・機器分析ユニット)

- 【目的】 分析機器の活用による研究支援及び分析機器の外部利用支援等。
- 【規模】 分子構造解析系、電子顕微鏡系、低温系、機能計測系、生物・食品解析系などを中心に38台

### 岩手大学理工学部高度試作加工センター (製作依頼、設備利用)

- 【目的】 教育研究支援のための加工請負、実習教育の支援、安全講習会で培った高い加工精度、難しい依頼加工への高い対応能力、そして早いレスポンスを基に、学内ものづくり中核施設から地域のものづくり分野の中核施設・共創拠点に展開。
- 【規模】 3軸・5軸マシニングセンタ、ワイヤ放電加工機、三次元造型機、プリント基板加工機や測定機器等加工など設計、加工・組立、評価に係る装置36台

### 岩手県工業技術センター (機器貸出、試験・分析)

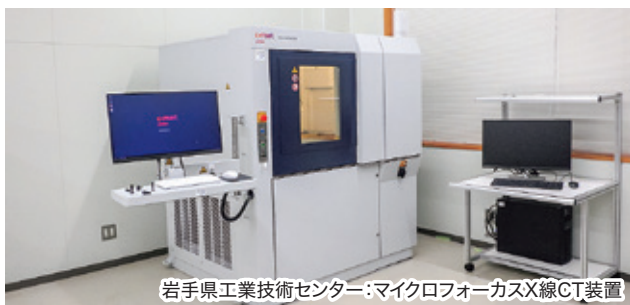
- 【目的】 地域の製造業を中心とした中小企業の技術的支援。試験・検査などの設備をお持ちでない中小企業のために、工業製品材料の試験分析・計測を行い、成績書を発行。また、食品関係の中小企業のために、技術相談を受けた食品の中で試験の必要のある物については各種分析を実施。
- 【規模】 分析機器、試験・測定機器、設計・加工機器、加熱・冷却機器、観察機器などを中心に295台

### 岩手県工業技術センターものづくりイノベーションセンター (評価分析、EMC評価ラボ、技術開発基盤)

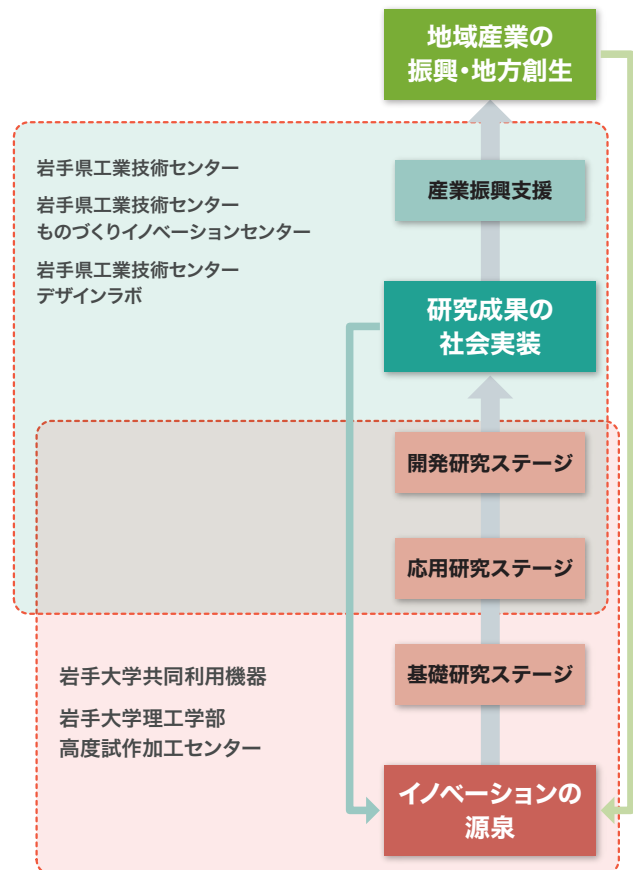
- 【目的】 国際規格に対応した電子機器の測定・評価を行うEMC評価ラボと、三次元デジタルものづくり技術に加えIoT機器開発機能等を強化した次世代ものづくりラボを設置し、皆様のものづくり技術の高度化を支援。
- 【規模】 EMC評価ラボ (大型電波暗室、多目的電波暗室、シールド室) 次世代ものづくりラボ (3Dものづくりラボ、新素材ラボ、IoTラボ)

### 岩手県工業技術センターデザインラボ (デザイン手法・製品技術の開発、商品開発支援)

- 【目的】 市場において競争力のある魅力的な商品の開発を支援するため、岩手県工業技術センターが設置したデザイン支援拠点。岩手県内の製造事業者およびデザイナー等を対象に、「デザインの普及啓発」「商品開発支援」「デザイン手法・製品技術の研究開発」の3つの活動により、北国(岩手)の暮らしを創造するための支援を実施。
- 【規模】 試作品製作などに利用可能な装置9台



岩手県工業技術センター:マイクロフォーカスX線CT装置



岩手大学:透過型電子顕微鏡 (TEM)

### 3

## 支援事業・サービス

(令和7年12月1日 時点)

研究開発から企業立地まで利用者ニーズに沿った支援、行政サービスをコーディネートいたします。

### 研究開発支援 (DX・GX・ヘルステック等)

#### いわて戦略的DX・GX等研究開発推進事業 (岩手県)

県内企業のデジタル (DX)・グリーン (GX) 分野を中心に、大学等の研究シーズを活用した段階的な研究開発を支援します。芽出し (基礎研究) から育成 (応用研究)、熟成 (事業化・大型資金獲得) まで、知的財産の活用も含めた多様なステージで支援します。

#### ヘルステック等製品化促進補助金 (岩手県)

医療・健康分野の製品開発を目指す県内中小企業に対し、試作・実証・改良などの経費を最大150万円 (補助率1/2) まで支援します。地域課題の解決と産業振興を目的に、産学官連携も促進します。

#### 産学共同研究事業等補助金 (盛岡市)

市内企業と大学・研究機関との共同研究に対し、最大50万円 (補助率1/2) を助成します。新技術・新製品の開発を支援し、地域産業の高度化を図ります。

### 地域資源活用・販路開拓支援

#### いわて希望応援ファンド地域活性化支援事業 (いわて産業振興センター)

県内中小企業等が取り組む起業、経営革新、農工商連携、商店街活性化などの新たな事業活動に対し、最大300万円 (補助率3/4以内) を補助し、新商品開発や販路開拓などの取り組みを後押しします。

### 企業立地・設備投資支援

#### 企業立地促進資金貸付 (岩手県)

県内で工場等を新設・増設する製造業やソフトウェア業等の企業に対し、原則3億円を限度として、低利融資 (年1.8%程度) を提供します。

#### 企業立地促進奨励事業費補助金 (岩手県・各市町村)

県内で工場等を新設・増設するときに、市町村の条例等により、最大3億円まで補助 (原則投資額の10%以内) し、地域経済の活性化と雇用拡大を支援します。

#### 情報関連企業立地促進補助金 (盛岡市)

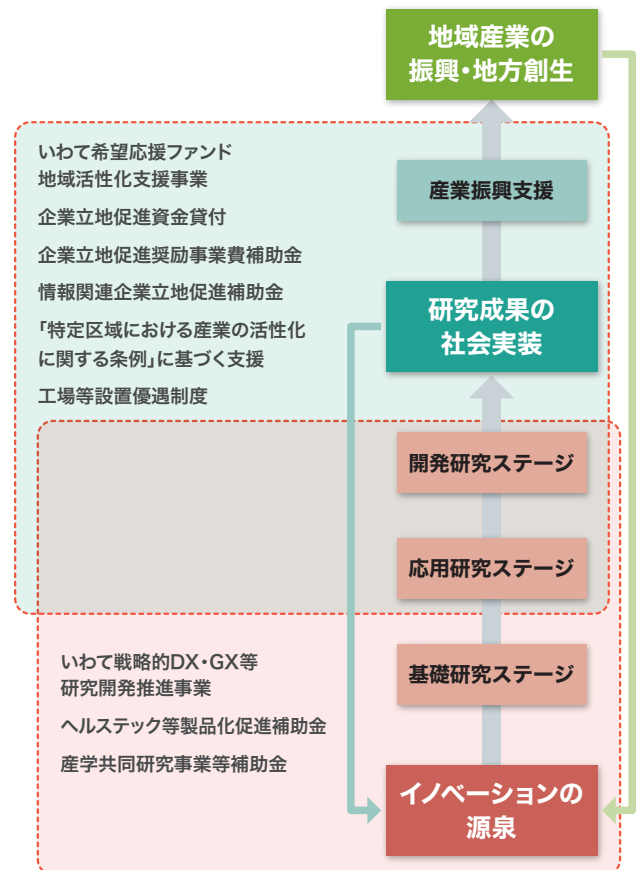
市内で事業所を新設・拡充するIT企業に対し、賃借料の1/3を3年間補助 (上限500万円) します。

#### 「特定区域における産業の活性化に関する条例」に基づく支援 (岩手県)

市町村長の申請に基づき、知事が指定する特定区域において、工場の用に供する工場等を新設・増設するときに、補助金・税制優遇などを通じて支援します。

#### 工場等設置優遇制度 (盛岡市)

固定資産税相当額や雇用数に応じた補助で、企業の新規立地や設備投資を促進します。



# いわてイノベーション推進リサーチパーク I-waRP ホームページ



I-waRPホームページから、いつでも、どこでも、切れ目のない支援へアクセス!



I-waRPホームページはこちらから

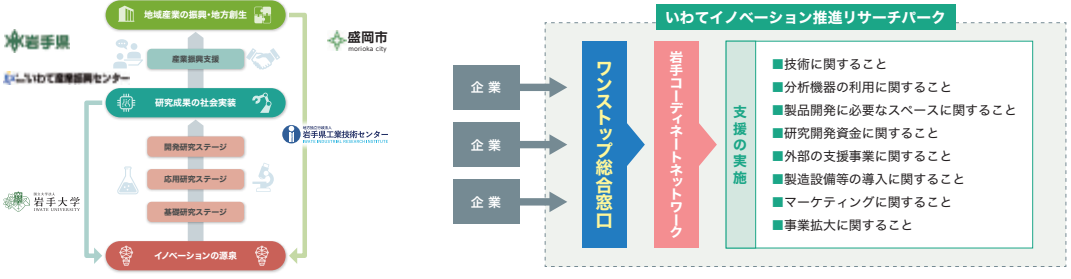
## 1 共同利用機器・施設・スペース・支援事業の検索機能

I-waRPのホームページでは、地域の企業や団体の皆さまが、参画機関の設備・施設・サービスをより便利に活用できるよう、共同利用機器、施設、スペース、支援事業を検索することができ、目的の設備やサービスにたどり着くまでの道案内を担います。これまででは、必要な機器や施設を探す際に「どこに何があるのか分からない」「問い合わせ先がバラバラで手間がかかる」といった課題がありました。このシステムは、そうした不便を解消し、地域の技術資源にスムーズにアクセスできる情報ナビゲーションツールとして機能します。



## 2 ワンストップ総合窓口

I-waRPホームページ内にあるワンストップ総合窓口は、皆様の研究・事業に関する多様なニーズや課題に対し、迷うことなく最適な支援へと繋ぐ役割を担います。この窓口を通じて、リサーチパークが有する多様な専門人材による支援サービス、施設・スペース、300台以上の共同利用機器の利用などへ円滑にアクセスできます。



**岩手コーディネーター・ネットワークとは**

岩手大学、岩手県、盛岡市、いわて産業振興センター、岩手県工業技術センターといった多様な機関のプロフェッショナルな支援人材が集結した専門チームです。バーチャルな「一つの屋根の下」で協力し、研究のひらめきから社会実装、そして地域産業の活性化まで、ビジネスや研究の全プロセスを切れ目なくサポートします。

## IV 大学等の特色ある研究分野を推進する研究センター、研究シーズ

大学等の強みや特色ある研究シーズを利用者ニーズに沿って提供いたします。

### 岩手大学 分子接合技術研究センター

— 岩手発・世界へ、接合技術で拓く次世代産業創造拠点 —

HPは  
こちら



#### ◆研究目的

分子レベルの接合技術 (i-SB法<sup>®</sup>) を核に、異種材料の高精度・高信頼接合を実現し、次世代製造技術の革新と多分野への応用展開を推進します。

#### ◆研究内容

- ・分子接合技術 (i-SB法<sup>®</sup>) による異種材料の高精度・高信頼接合
- ・接合界面の構造解析と長期信頼性評価
- ・難接着材料にも対応可能な環境適応型接合プロセスの開発

#### ◆特徴・強み

<技術的優位性>

・分子レベルの化学結合により、高強度・高密着の接合を実現。接合部厚さはナノメートル単位。

・工程・部品削減による環境負荷低減と製造の簡素化

・粗化不要で、フッ素樹脂・シリコンゴム・セラミックスなどにも対応

<応用展開力>

自動車、半導体、医療機器、電子部品など多分野に展開可能

<地域発・継続的研究基盤>

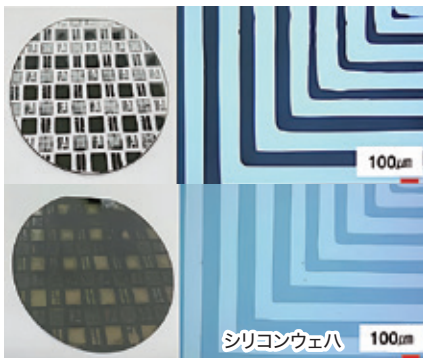
60年以上の接合技術研究の蓄積。岩手県工業技術センターや大学発ベンチャーとの連携による社会実装力。

<分析・評価体制の充実>

AFM-nanolRやSAICAS等表面界面計測機器多数。

<プラットフォーム>

i-SB法<sup>®</sup>と樹脂設計・合成技術を核に、産業応用を加速する技術プラットフォームを構築。



### 岩手大学 ものづくり技術研究センター

— 地域とともに進化する実践型ものづくり拠点 —

HPは  
こちら



#### ◆研究目的

金型・ casting・複合デバイス技術を核に、地域産業の高度化と新製品創出を支援します。実践的な研究と人材育成を通じて、持続可能なものづくり基盤を構築します。

#### ◆研究内容

・金型技術：高精度・高耐久な金型設計と加工技術開発。表面処理や成形品質の最適化にも対応。

・ casting技術： casting材料の高性能化と欠陥予測技術。環境負荷の少ない castingプロセスを追求。

・生産技術：デバイス開発、ものづくり分野の生産技術、量産化技術の開発。

#### ◆特徴・強み

<技術融合型の研究体制>

金型・ casting・複合デバイスの3分野を統合し、実用化に直結する研究を展開。

<産業応用力>

自動車、電子機器、環境分野など、地域産業の多様なニーズに対応。

<地域連携の実績>

岩手県内自治体 (北上市、奥州市、花巻市) と連携し、現場ニーズに基づく試作から製品化までを一貫支援。

<実践的人材育成>

技術と経営を兼ね備えた人材を育成し、地域の技術力強化に貢献。

<充実した設備環境>

試作加工センターや実験施設を活用し、研究・教育・起業支援を一体化。

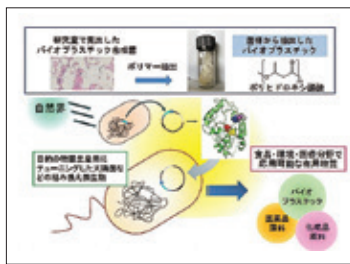
岩手県内自治体等と協働設置したサテライトによる実証研究体制を整備。



## 岩手大学 次世代アグリノベーション研究センター

— 寒冷地から拓くスマート農業と食の未来 —

HPは  
こちら



### ◆研究目的

気候変動や人口減少などの課題に対応し、寒冷地農業の持続可能性を高めるため、先端技術と地域資源を融合した農業DX・食料生産・環境保全の研究を推進します。

### ◆研究内容

- ・生物生産：寒冷地に適した作物の栽培技術や省力化手法（初冬直播きなど）を開発。
- ・食と生活：地域資源を活用した食品素材の機能性評価や鮮度保持技術を研究。
- ・生態環境：外来生物の行動解析や環境DNAによる生物分布調査を通じて、生態系保全と農業環境の改善

### ◆特徴・強み

寒冷地農業に特化：地域の気候に適した栽培技術と品種改良の実績

先端技術の活用：AI・ドローン・環境DNAなどによるスマート農業と環境解析

地域資源の活用：紅藻・オキアミなどを使った機能性食品の研究

## 岩手大学 三陸水産研究センター

— 三陸から持続可能な水産業の未来を拓く —

HPは  
こちら



### ◆研究目的

三陸沿岸の豊かな海洋資源を活かし、持続可能な水産業の高度化と地域水産業の振興を目指します。養殖技術、資源管理、環境保全を統合し、産学官連携による実践的な研究と社会実装を推進します。

### ◆研究内容

- ・養殖技術の高度化：サーモンなど主要水産物の種苗生産・育成技術の改良
- ・水産資源の評価と管理：海洋環境モニタリングや資源量調査による持続的漁業支援
- ・水産物の高付加価値化：鮮度保持・加工技術の開発と地域ブランド化
- ・地域連携型研究：漁業者・企業・自治体と連携した現場実証と技術普及

### ◆特徴・強み

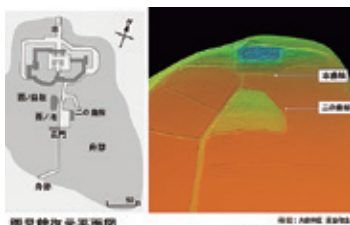
三陸沿岸に根ざした現場密着型研究：地域水産業の課題に即応した技術開発と支援体制

養殖コンソーシアムの形成：岩手県・企業・漁業団体と連携し、養殖技術の共同開発と普及

## 岩手大学 平泉文化研究センター

— 歴史・文化・技術をつなぎ、平泉の歴史文化から未来創造へ —

HPは  
こちら



3Dレーザーキャナによる遺跡の  
高速・高精度デジタルデータ化

### ◆研究目的

世界遺産・平泉の歴史的・文化的価値を学術的に解明し、保存・活用・発信を通じて地域文化の継承と創造的発展に貢献します。文理融合・学際連携により、文化資源の多面的な研究と社会実装を推進します。

### ◆研究内容

- ・歴史・思想・美術の研究：中尊寺・毛越寺などの史料・建築・仏教思想の分析
- ・文化財の保存・修復技術：建造物・絵画・工芸品の保存科学と修復技術の開発
- ・地域文化の継承と発信：観光・教育・地域振興と連動した文化資源の活用
- ・学際的共同研究：理化学分析・デジタルアーカイブ・保存技術の融合研究

### ◆特徴・強み

世界遺産・平泉を対象とした専門研究拠点 文理融合による保存・活用・発信の総合的アプローチ

東北大学等との新知創造学際ハブによる高度な分析・保存技術、地域自治体・文化団体と協働した教育普及

## 岩手県工業技術センター

— ものづくり産業及び地場産業への支援 —

HPは  
こちら



分子接合技術を用いた  
立体パターン配線形成

### ◆研究目的

技術支援や共同研究等の質の高いサービスを基本に、企業等の新たな事業展開に繋がる研究開発、地域産業の成長支援、震災復興支援などを実施。

### ◆研究内容

- ・電子、情報、ソフトウェア、IoT、ロボット、AI、メカトロニクス、光加工に関する技術相談等
- ・表面処理、塗装、化学分析、新素材、プラスチック加工に関する技術相談等
- ・鋳造、機械加工、溶接・溶射、金属熱処理、三次元ものづくりに関する技術相談等
- ・デジタル化・DX推進に関する技術相談等
- ・商品企画、産業デザイン、工芸、漆工、木材加工に関する技術相談等
- ・酒類、醸造関連食品等に関する技術相談等
- ・食品加工、発酵食品、機能性食品に関する技術相談等

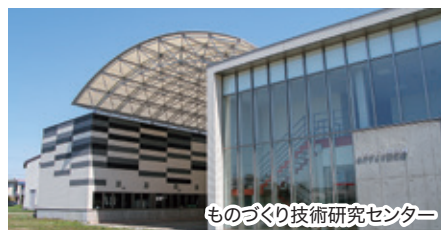
### ◆研究の例

岩手発の分子接合技術を用いて、平滑な樹脂表面にめっき配線パターン形成する次世代3D-MIDの実現をめざした取組を実施。

## V 地域産業の振興・地方創生へのサポート体制

構成機関の特徴を活かして、地域企業のニーズに沿った形で基礎研究から社会実装、地域産業の振興までを切れ目なくサポートする体制が整っています。

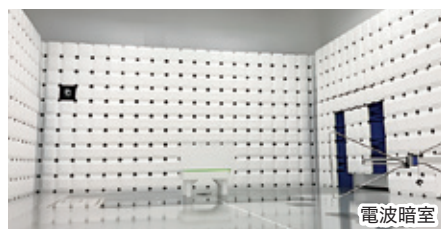
### 基礎研究ステージ 応用研究ステージ 岩手大学



研究支援・産学連携センターを設置し、岩手大学ならではの強みや特色ある研究推進、学術研究の基盤強化を図るとともに、教育研究成果及び知的資産の地域への普及・還元を通じ、地域創生に貢献します。

研究・産学連携、地域創生を担当する理事・副学長が統括し、研究支援から産学連携・地域創生までをワンストップで対応する窓口として、機動性と安定性を兼ね備えた組織体制で支援します。

### 開発研究ステージ 岩手県工業技術センター



製造業を中心とする企業等に対して技術支援を行うことにより、岩手県の産業振興と県政課題の解決に貢献します。

**技術相談**：企画、製品開発・技術開発、製品化、事業化までを総合的に支援。

**依頼試験**：各種分析・計測を行い成績書の発行。

**設備機器貸出**：所有する設備機器を貸し出し。

**人材育成**：新商品開発や技術課題解決などのため、講習会開催、職員派遣、研修生受入により企業技術者等を育成。



岩手県先端科学技術研究センター内「いわて産業振興センター」



I-SPARK(アイスパーク)(北上市)



ILC技術セミナー

岩手発のイノベーション推進に向け、県内企業の技術ニーズと大学・公設試の研究シーズのマッチング、技術開発、事業化までを総合的に支援します。

ヘルステック・デバイスものづくり拠点の形成に向けた医工連携拠点の強化や、ILCを核とした国際研究拠点の形成を見据え、県内企業の技術力向上などを支援します。

次世代の技術分野を視野に、研究プロジェクト競争的資金獲得に取り組むとともに、研究成果の事業化を支援。

企業間等の連携による技術開発・新製品開発を促進するため、大学等との連携体制を構築し、研究開発から事業化までの一貫支援を行います。

## 地域産業の振興・地方創生

## 岩手県

- **科学・情報政策室**：岩手県科学技術イノベーション指針に掲げる分野の研究開発を「いわて戦略的DX・GX等研究開発推進事業（公募事業）」にて支援（令和7年12月1日時点）。可能性試験、シーズ育成、知的財産活用、応用研究の各ステージで、国などの大型資金獲得や事業化に結び付く開発費の支援を大学等及び企業に対し行っています。
- **ものづくり自動車産業振興室**：国際競争力の高いものづくり産業の振興のため、産業別（自動車、半導体、医療機器ほか）の振興担当と、横断的に関連する企業誘致・人材育成確保の推進担当で構成。岩手県庁と地域産業高度化支援センターの2拠点で企業支援体制を構築しています。



岩手県先端科学技術研究センター

## 地域産業の振興・地方創生

## 盛岡市

県都としての優れた都市機能、大学等の教育機関、試験研究機関、産業支援機関の集積という優位性を有し、岩手大学を中心とする産学官連携活動により支援人材やネットワークが形成されています。

- **盛岡市産業支援センター**：インキュベーションマネージャーが創業希望者や事業者の創業・経営革新・異分野進出の相談に応じ、ブース形式の事業スペースを提供。
- **盛岡市産学官連携研究センター（岩手大学構内）**：大学と企業との共同研究の事業化や、大学発ベンチャーの成長を支援。オフィススペースや実験室併設スペースに入居し、専任のインキュベーションマネージャーや大学教員、産学連携センターからの助言・指導を受けられます。
- **盛岡市新事業創出支援センター**：新事業・新製品開発支援のための貸工場を設置し、専任のインキュベーションマネージャーによるコーディネート、販路拡大、資金調達などを支援。

盛岡広域3市町や金融機関、ベンチャーキャピタルと連携し、ファンドを組成して起業や新事業への資金・経営支援を行い、成長を促進。企業と大学・試験研究機関との共同研究費への補助も行い、市内中小企業の新製品・技術開発を支援しています。



盛岡市産学官連携研究センター

## 【 I-waRPホームページ 】

下記の5機関が連携し、研究成果の社会実装から地域産業の振興までを支援するバーチャル拠点です。



- ◆ 共同利用機器・施設・スペース・支援事業の検索
- ◆ リサーチパークの支援人材への相談
- ◆ その他最新情報もここから入手できます

URL <https://i-warp.jp>

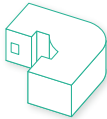


ご利用、お問い合わせはこちらのホームページから!

いわてイノベーション推進リサーチパーク(通称:I-waRP) 事務局

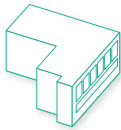
019-621-6689 i-warp@iwate-u.ac.jp

### 構成機関



**国立大学法人 岩手大学** 研究支援・産学連携本部

019-621-6689 urapj@iwate-u.ac.jp

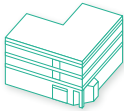


**岩手県** ふるさと振興部 科学・情報政策室(科学技術担当)

019-629-5251 AB0008@pref.iwate.jp

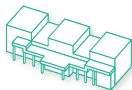
商工労働観光部 ものづくり自動車産業振興室(ものづくり産業振興担当)

019-629-5551 AB0005@pref.iwate.jp



**盛岡市** 商工労働部 ものづくり推進課

019-626-7551 monozukuri@city.morioka.iwate.jp



**公益財団法人 いわて産業振興センター** 産学連携部

019-631-3825 kenkyu@joho-iwate.or.jp



**地方独立行政法人 岩手県工業技術センター**

019-635-1115 CD0002@pref.iwate.jp